

シツナイ領略中  
シツナイ領略中  
註 辨天社略註 下に小流有是を以て號し本名フツナイ也名義會

祖母澤の義也往昔此所に老母神の在せしと其より此場所は廣まりしと此澤に昔は人家多く

有しや種々陶器缺け出る也今に七目繩め等面白き物有土人文政改壬午改百四軒人別五百廿

一人多産物鱒鮭昆布鮫鱈海草類椎茸鹿皮雜魚

三石領略中  
三石領略註 土地少し岬に成上は平山下砂濱午未向大船五六町沖懸り小舟岸に繫

ぐ略註 本名ミトシとて樺桶の事なり從是十町東の川の名を以て總名とす此處地名はシユフ

トにて此澤の口に蘆荻ある以て號し也又和人今三石の字を冠らしめ此沖に三つの大暗礁

有故とも云り略中 土人文政改四十九軒二百廿二人多く土産昆布鮭鱒鱈鮫鱈鹿皮海鼠雜魚粕也

〔東蝦夷日誌五編〕浦河 會所略註 元松前家來北川重次郎給所濱形未申向略中 名義前に云ふ如

し地名ホンナイノツとて小澤岬なるにウラカワの名有は昔しウラカワに有しを此所へ移せ

し故なり領内土人多し文政壬午七十五軒人別三百廿七人土産鮭鱒いりこ鹿皮鱒昆布其外雜

魚多し

シヤマニ略中  
シヤマニ會所略註 地名エンルンなるをシヤマニヘツに住する土人を遣ふ處

故に如斯改りし也元は松前家臣蠣崎藏人の給所なり此所西南向の一灣にして瀉内に蠟燭

岩ホロシユマ大岩ホンシユマ小と云岩あり風景また妙なり船は未申の風に入て丑寅の風に出

帆東北に高山有總て暖地畑作よろし土人文政庚寅改廿八軒百七十四人村多し産物鱒鮭鮭鱒

昆布煎海鼠布海苔鹿皮其外雜魚多し

〔東蝦夷日誌六編〕纒泉略中  
纒泉略中 名義前に云如くホロエンルンにして岬の名を以て當所

の總名とす此地元松前家の臣蠣崎藏人給地也其地後にホン岳と云山道灣は申七分向にして

海に枕み船泊荒磯多く七八百石五六艘千石餘壹貳艘をいる其餘は皆沖懸也入津未申出帆寅